

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和2年6月12日

作成者：渡辺直子

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
チーム M	
事業名	日時 (期間), 場所
園芸セラピー	令和元年 10月 25日
内容 (実績) *実施したことを具体的に	受益者数
・ 家族に問題を抱えて孤立しがちな主婦を対象にセラピー効果の高い園芸セミナーを開くことで、癒しの場を提供しながら、有用な情報交換ができるコミュニティづくりを行い、参加者の QOL を上げた。	(15) 人
	参加者数
	(15) 人
成果 (社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
・ 10 人の募集に 15 人の応募があり、このような機会の提供にニーズがあることが分かった。 ・ 普段はあまり表に出てこない「家庭問題に悩む主婦」の存在およびそれに伴う問題や課題が潜在していることも判明した。 ・ 会場を、リノベーションなった宮塚住宅に設定したことで、宮塚住宅の活性化の一助となった。 ・ 主宰者の山口さんは、これをきっかけに小さなセミナーを開くようになり、それが自宅マンションの自治会の目に留まり、有償でマンションのエントランス付近の園芸管理を受託するようになった。また個人宅とガーデナー契約を結び、友人をスタッフにしたスモールビジネスが生まれた。	
今後の展望 (どのように継続, 発展するか)	

・このケースで蓄積したノウハウをもとに、自分の「好きなこと」「できること」を「社会に求められること」へと成育させることを目指す。たとえばそのための小さなセミナーやワークショップを開催する。

・自分の特技を使って活躍する女性を芦屋市に増やすことを目指したい。その実現のためのノウハウや労力を協力的に提供するコミュニティとして、チームMをさらに強固にまたホスピタリティあふれる団体に育てたいと思っている。

ちなみに、特技を使って活躍する女性たちの理想的な到達点はスモールビジネス化だと考えている。